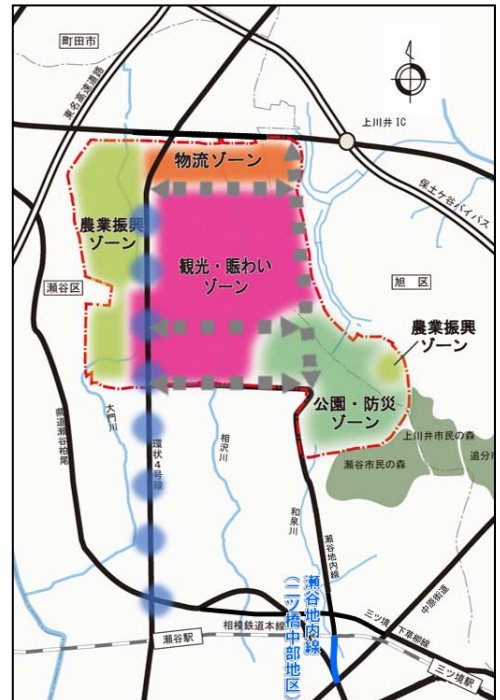
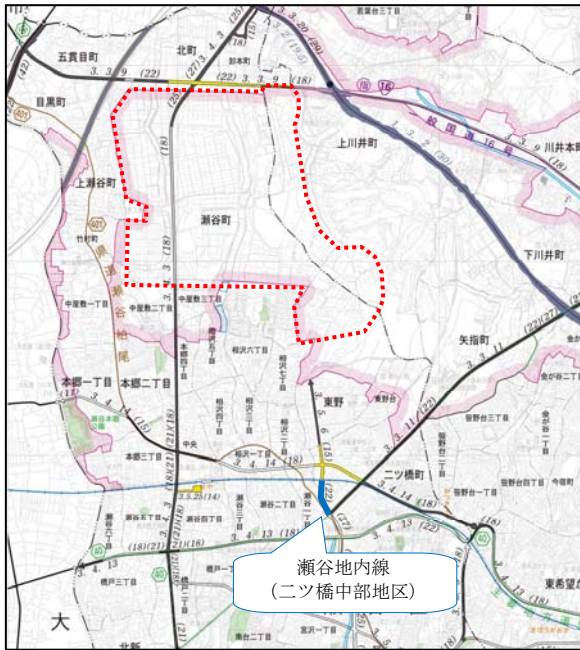


(様式2)

公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	【都整-3】 都市計画道路瀬谷地内線（二ツ橋中部地区）道路整備事業
	場所 (所在地)	瀬谷区瀬谷一丁目～瀬谷区二ツ橋町
	事業目的	<p>瀬谷地内線（二ツ橋中部地区）は、瀬谷区瀬谷一丁目を起点に、相模鉄道と交差し、瀬谷区二ツ橋町までを繋ぐ路線で、自動車交通の円滑化や歩行者等の安全確保を目的として都市計画決定されている道路です。</p> <p>当路線の計画地は、相模鉄道で南北に分断されており、現状は自動車や歩行者等が狭い道路や踏切を渡って南北を移動しています。また、瀬谷区北部において南北を縦断する主路線の環状4号線は現在片側1車線で交通量は約1万5千台であり、渋滞が見られる状況です。</p> <p>さらに、当路線に近接する旧上瀬谷通信施設においては、郊外部の新たな活性化拠点の形成をテーマとして、観光・賑わいゾーン等の配置により、将来的には年間1500万人が訪れるまちづくりが計画されており、新たな土地利用により周辺道路における交通量の増加が想定されます。</p> <p>そのため、旧上瀬谷通信施設の新たな土地利用に伴い発生する主に中原街道といった南方面からのアクセス経路を複数確保するとともに、既存交通の円滑性の確保を図るため、瀬谷地内線を整備することによる自動車交通の分散を行います。</p>
	事業内容	新規整備 延長約280m、幅員15～22m（車道2車線、両側歩道）
	事業スケジュール	令和3年度から令和10年度までを予定 令和3年度～ 詳細設計、用地取得 令和5年度～ 新規整備工事 令和10年度 事業完了 ※今後の検討状況により変更となることがあります。
総事業費	約53億円（国費：29億円、市費：24億円） 設計測量費 2億円 用地費 18億円 工事費 33億円 ※今後の検討状況により変更となることがあります。	

【案内図】



【旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(土地利用ゾーン)】

事業の  
必要性

①必要性・優先度

瀬谷区北部において南北を縦断する路線は環状4号線のみであり、現在約1万5千台/日の交通量による混雑がみられます。

計画地における土地利用転換に伴い、さらに増加すると想定される交通量に対応するため、当該区間の整備による周辺道路の混雑緩和が期待されており、土地利用に合わせた整備が求められています。

②上位計画における位置付け・根拠法令等

横浜市中期4か年計画(2018-2021)

○戦略4(2)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』

～誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部～  
米軍施設の跡地利用の促進

・政策 21 コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり

旧上瀬谷通信施設について、地権者等と連携しながら、アクセス道路など周辺の都市基盤整備等も含め跡地利用を推進します。

○戦略6(2)『未来を創る強靱な都市づくり』

～市民生活と経済活動を支える都市基盤～  
人やモノの往来を支える交通ネットワークの形成

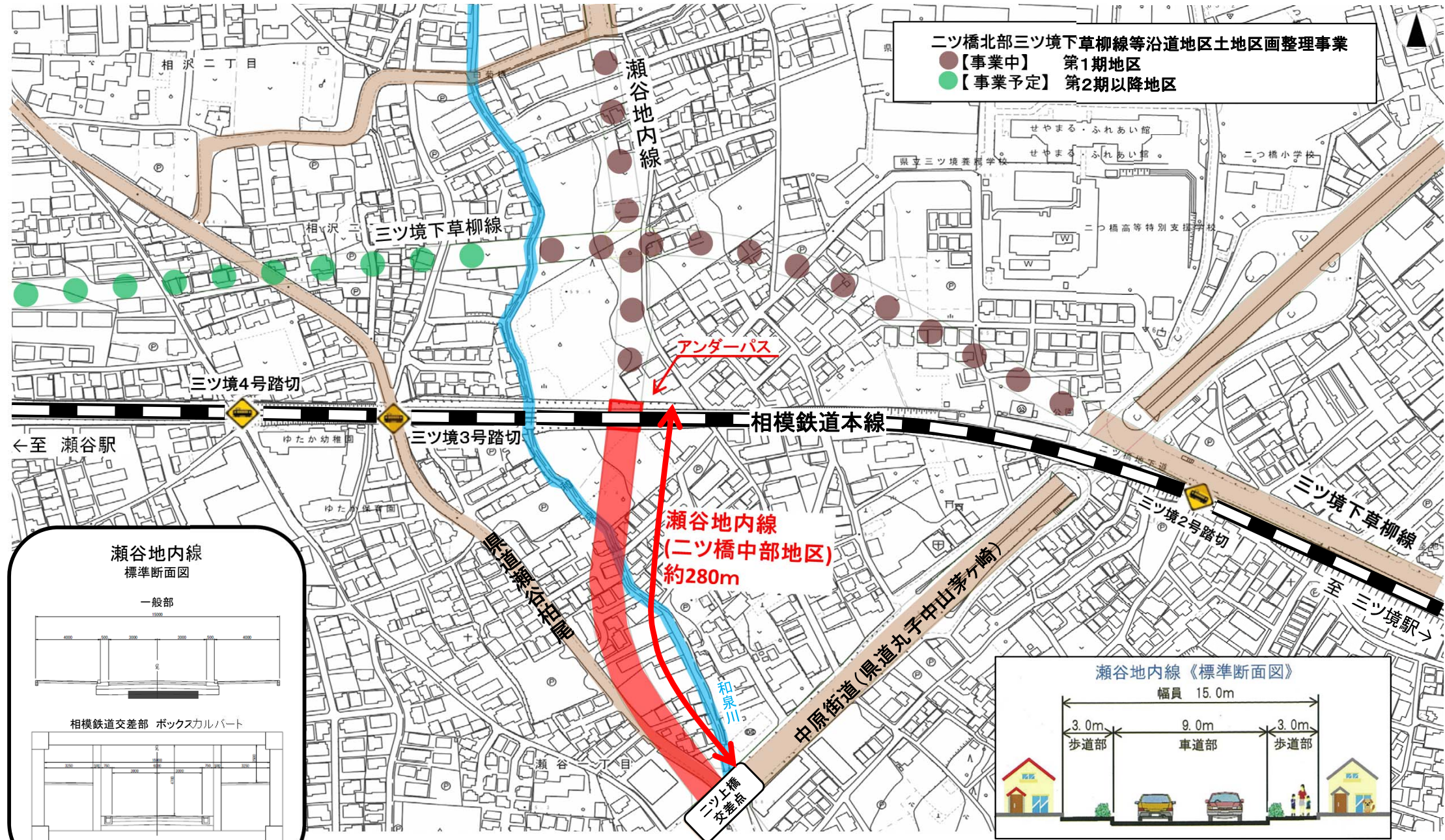
・政策 36 交通ネットワークの充実による都市インフラの強化

市民生活の安全・安心を確保し、横浜経済の活力を支えるため、都市計画道路の整備を推進します。

	<p>③社会経済情勢</p> <p>旧上瀬谷通信施設は、平成 27 年 6 月に返還された米軍施設の跡地で、令和 2 年 3 月に「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」が策定され、郊外部の新たな活性化拠点の形成をテーマとして、将来的には年間 1,500 万人が訪れるまちづくりが計画されています。</p> <p>また、当地区においては、令和9年3月に国際園芸博覧会の開催に向けた取組が進められています。</p>						
<p>事業の効果 (費用便益分析等)</p>	<p>①定性的事項</p> <p>○南北を繋ぐ交通ネットワークの構築</p> <p>環状4号線を補完する道路として瀬谷区の南北を繋ぐ交通ネットワークを構築することで、環状4号線の交通の分散が図られます。</p> <p>○相模鉄道による街の分断の解消</p> <p>当地区は相模鉄道により南北に分断されていますが、事業中の二ツ橋北部三ツ境下草柳線等沿道地区第1期地区土地地区画整理事業と併せて当路線を整備することにより、南北を繋ぐ道路が構築され、街の一体化、歩行者の安全性の確保が7期待されます。</p> <p>②定量的事項</p> <p>○費用便益分析</p> <p>国土交通省の「費用便益分析マニュアル」(平成 30 年2月)に基づき、B/C を算出しています。</p> <table border="1" data-bbox="499 1182 1414 1326"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>77 億円</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>41 億円</td> </tr> <tr> <td>費用便益比(B/C):標準値</td> <td>1.87</td> </tr> </table> <p>※便益については、走行時間の短縮、走行経費の減少、交通事故の減少を対象としています。</p> <p>※便益算出には、旧上瀬谷通信施設の土地利用を踏まえた交通量を使用しています。</p> <p>※隣接する「二ツ橋北部三ツ境下草柳線等沿道地区第2期以降地区」については、第1期地区に引き続き事業化する予定のため、整備される前提で便益を算出しています。</p> <p>③コスト削減の取組み</p> <p>舗装、構造物の構造等について、長寿命化の検討を行い、維持修繕が容易な構造とし、維持管理コストの削減を図ります。また、建設発生土の工事間流用による運搬費・残土処分費の削減や、再生材の使用によるコストの削減を図ります。</p>	総便益(B)	77 億円	総費用(C)	41 億円	費用便益比(B/C):標準値	1.87
総便益(B)	77 億円						
総費用(C)	41 億円						
費用便益比(B/C):標準値	1.87						

環境への配慮	<p>低騒音舗装の採用や道路照明器具に LED を使用するなど最新の省エネルギー型機器の採用等を検討し、環境負荷の低減に配慮した設計とします。</p> <p>建設発生土やコンクリート塊など建設副産物の有効活用に努めます。</p>
地域の状況等	<p>事業の実施にあたっては、関係地権者及び周辺地域の方々を対象に説明会等を実施しながら進めます。</p> <p>令和2年9月開催：瀬谷地内線整備に向けた説明会</p> <p>令和3年度開催予定：道路設計・用地補償説明会</p>
事業手法	公共発注方式
その他	—
添付資料	有
担当部署	都市整備局上瀬谷整備推進部上瀬谷交通整備課 (TEL045-671-4607)

# 位置図



※赤線は概ねの整備範囲を示すものであり、実際と異なる場合があります。 5

# 現況写真



①



②

